

教育委員意見交換会

日時 令和4年7月25日(月) 午後2時00分～午後7時00分

場所 教育委員室

出席者 日渡教育長、河盛委員、宮本委員、鈴木委員、新谷委員、長田委員
(事務局)山崎教育次長、長山教育監

中山真裕美教委総務部長、岩井伸司教委総務課長、
富岡重幸教職員人事部長、樋口信征教職員企画課長、
竹内新学校教育部長、永木里恵学校教育部参事、
藤本慎也教育センター所長、渡邊耕太能力開発課長、
井村美穂学校管理部長、辻正彦学校給食課長、
北野修司学校管理部部理事、飯田繁夫学校施設課長、
橋本宏司教育政策課長、楠本教育政策課企画係長

案件

- ・地方公務員の定年引上げについて(教職員関係)
- ・学校給食費の公会計化について
- ・工事請負契約の締結について(浜寺小学校校舎改築工事)
- ・8月補正予算(令和4年度 堺市一般会計補正予算)について
- ・令和4年度大阪府すくすくウオッチの結果速報について
- ・令和4年度全国学力・学習状況調査の結果速報について
- ・令和4年度教育委員会表彰について
- ・本市いじめ重大事態調査結果報告書の公表のあり方について
- ・英語教育推進事業におけるネイティブスピーカー・オンライン英会話の今後の進め方と効果検証について
- ・堺市立学校において令和5年度に使用する教科用図書の採択について
- ・その他非公開案件 1件あり

・地方公務員の定年引上げについて(教職員関係)

地方公務員法の改正により、地方公務員の定年年齢が令和5年度から段階的に引き上げられることに伴い、職員団体との交渉を経て、第3回市議会に関連条例改正(案)を上程することを説明。

(主な意見)

- ・特になし

・学校給食費の公会計化について

学校の給食費徴収事務における教職員の負担軽減と、保護者の利便性向上を図るため、学校給食費の公会計化の実施を計画していることを説明。

(主な意見)

- ・公会計化を行っている他の自治体では、学校給食費以外の学校徴収金の取扱いはどのようになっているのか。
⇒自治体により取扱う内容は異なっている。今後、取り扱うべき会費等の整理は必要と考えている。

・工事請負契約の締結について(浜寺小学校校舎改築工事)

浜寺小学校校舎改築工事の契約締結に関する内容及び本契約の締結には、第3回市議会の議決が必要であり、第3回市議会に本契約を行うための議案を上程することを説明。

(主な意見)

- ・工事期間が長く、授業や教育活動への影響が懸念される。工事の実施にあたっては、できるだけ子どもたちや地域のことを念頭に丁寧に進めてほしい。

・8月補正予算(令和4年度 堺市一般会計補正予算)について

新型コロナウイルス感染症への対応など、第3回市議会に補正予算(案)を上程することを説明。

(主な意見)

- ・特になし

・令和4年度大阪府すくすくウォッチの結果速報について

大阪府の小学生すくすくウォッチの結果速報を説明。

(主な意見)

- ・すくすくウォッチの結果分析は、市教委とともに学校でも行い、校長や教員が授業改善など、子ども達への指導に活かすことに役立ててほしい。
- ・分析に関しては、課題点ばかりでなく、よい点や改善された点の分析も必要である。例えば、正答率をのばしたり、肯定的な回答にのびが見られる分野の分析も行い、のびが見られる学校の教員の指導方法等を市教委が聞き取ったり、当該分野の教員研修のリーダーにするなど、教員間で優れた指導方法等の共有ができればよいのではないかと。

⇒現在、教育委員会事務局も結果の分析を行っている。また、市全体の状況を踏まえながら、各学校でも分析を行っており、それぞれの学校における傾向の把握や教員の指導に役立てられるようにしていく。また令和4年度は2回目となるため、受検した児童に結果を返却する際テスト結果に加えて、前回との比較等個人票の見方の資料も併せて返却し、児童に改善点を記載してもらおう形に変更するなど、個々の子どもが自身の学力等を把握し、改善できる取組も行っている。

・令和4年度全国学力・学習状況調査の結果速報について

全国学力・学習状況調査の結果速報を説明。

(主な意見)

- ・分析にあたっては、受検人数や分布図などもう少しデータ整理が必要である。また、全国学力・学習状況調査とすくすくウォッチの回答結果の関連性を見るなど、各種調査のデータをどのように活用・分析していくかということを考えてほしい。
- ・個人票の活用については、児童・生徒と保護者との共有を懇談会等で行ってほしい。
- ・全国学力・学習状況調査の結果をどのように活かしていくのかという視点も大事である。結果を1学期末にフィードバックができると、家庭における夏休みの取組も変わるのではないかと。夏休み前にテスト結果を保護者等に説明できるよう、調査の時期や結果の公表スケジュールの見直しについて、是非、国などに要望してほしい。

・令和 4 年度教育委員会表彰について

令和 4 年度の教育委員会表彰については、職員栄誉・業務功績・教育功績の部の応募を 1 か月程度前倒しする予定である。表彰式は、令和 5 年 3 月に実施したいと考えていることを説明。

(主な意見)

・特になし

・本市いじめ重大事態調査結果報告書の公表のあり方について

いじめ重大事態調査結果報告書を公表するにあたって、報告書の内容の公開・非公開箇所をどのように整理していくのかという考え方を明文化するというもの。併せて、公表に向けた手順も改めて整理し明文化したいと考えていることを説明。

(主な意見)

・非公開箇所に関して、被害児童・生徒とその保護者と相互理解ができない場合の最終判断はどうするのか。
⇒最終的には教育委員会で判断することになる。

・英語教育推進事業におけるネイティブスピーカー・オンライン英会話の今後の進め方と効果検証について

英語教育の取組においては、ネイティブスピーカーの配置やオンライン英会話の実施等、現在行っている事業について、小中学校 9 年間を見据えて相互に関連づけて整理を行い、令和 4 年度中には、今後の英語教育の推進に向けた考え方を取りまとめていきたいと考えている。考え方をまとめていくにあたっては、普段の英語の授業とオンライン英会話との併用による相乗効果や英検 3 級相当以上の英語力を持っている生徒の割合がどの程度なのかエビデンスの収集等も引き続き行っていきたい。

(主な意見)

・英語教育に関して、定量的データに加え、定性的な取組による効果についても検証しておく必要がある。今後、オンライン英会話を行っていくうえで、どのような指標設定や狙いをもって取り組んでいく必要があるかについては、学校現場の教員の意見も参考にしながら、ネイティブスピーカーとオンライン英会話を組み合わせた最適な英語教育とは何かを考えていかなければならない。

・堺市立学校において令和 5 年度に使用する教科用図書の採択について

令和5年度に堺高等学校および支援学校・支援学級で使用する教科用図書の採択について概要を説明。

(主な意見)

・特になし